

2023 年度 第 2 回 8 月 東大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

第 1 問 (20 点)

設問 A

(1) 3 点

日本海側の低気圧に向かう南風が脊梁山脈を越えて下降気流となり、強風に加えてフェーン現象による高温・乾燥が著しかった。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【火災拡大の要因 1】

○強風／風が強かった

②<1 点> 【火災拡大の要因 2】

- ・高温／気温が高い／暖冬／暖かい
 - ・乾燥／湿度が低い
- 両方揃って 1 点

③<1 点> 【①②の要因】

○フェーン現象／太平洋側から山脈を越えた風が吹きおろした

(2) 2 点

家屋が分散しているため、火事が発生しても類焼が起きにくい。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【村落形態の特徴】

○散村である／家屋が分散／家が密集していない／家が疎らに建つ

②<1 点> 【①の利点】

○類焼が起きにくい／延焼が起きにくい／隣家に燃え移らない

(3) 4 点※ [指定語句] 呼吸器 搾油 泥炭 パルプ 4 つ全て 下線付き で使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

世界的需要増による搾油用油やしやパルプ用材の生産拡大で、火入れに伴う森林火災が頻発し、森林破壊に加え、煙害が周辺国に呼吸器障害をもたらし、泥炭の燃焼で温室効果ガスが大量に生じた。(3 行)

(次ページに続く)

【加点ポイント】

①<1 点> 【火災多発の要因】

- (農園を造るための) 火入れ/熱帯林 (森林) を焼き払う

②<1 点> 【①の背景】

- ・ 搾油用の油やし (アブラヤシ/油ヤシ) の植樹 (生産)
 - ・ パルプ用材の植樹 (生産)
- } ○両方揃って 1 点

③<2 点> 【火災多発による環境問題】

- 森林破壊/熱帯林の減少
 - 煙害による呼吸器障害
 - 泥炭の燃焼で温室効果ガスが大量発生/泥炭燃焼による気球温暖化の促進
- } ○1つ1点
2 点まで

(4) 3 点

東風が弱まり太平洋熱帯域の暖水が東部に留まるため、積乱雲の発生海域が平年より東にずれてインドネシア近海は少雨となる。(2 行)

①<1 点> 【エルニーニョ現象時のインドネシアの気候の特徴】

- 少雨になる/乾燥する/雨をもたらす積乱雲が発生しない

②<1 点> 【①の要因】

- 東風が弱まる/貿易風が弱まる

③<1 点> 【②の影響】

- 暖水が太平洋東部に留まる/インドネシア付近の海水温が低くなる
- × インドネシア付近の気温が低くなる

設問 B

(1) 1 点 ○外来河川

(2) 3 点

有機性のごみから、放牧された家畜の飼料となる植物が育ち、さらに家畜の糞から発芽する植物で緑化が進み砂漠化が改善される。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【家畜飼育が可能となる理由】

- ごみから植物が育つ/ごみが養分となり飼料が育つ/ごみを飼料の肥料代わりにしている
- /ごみにより土地が肥え植物が育つ
- × ごみを家畜の餌にする

②<1 点> 【家畜飼育の影響】

- 家畜の糞が植物の肥料となる/家畜の糞で土地が肥える/土地が家畜の糞により緑化が進む

③<1 点> 【②の環境への影響】

- 砂漠化の改善

(3) 4 点※ [指定語句] 過密化 感染症 食害 民族対立 4 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

都市では過密化で処理しきれなくなったごみが減り、衛生状態が改善して感染症の蔓延を抑止する。農村では、牧畜民の飼育する家畜による農作物の食害が減り、農耕民との民族対立を防止する。(3 行)

【加点ポイント】

①<2 点 (1 点×2) > 【都市の問題改善】

- 過密化で増えたごみが減る/過密化で増えたごみの処理先が増える →1 点
- 感染症の蔓延を抑止/感染症が減る →1 点

②<2 点 (1 点×2) > 【農村の問題改善】

- 家畜による農作物の食害が減る →1 点
- 牧畜民と農耕民との民族対立が緩和 →1 点

×「民族対立の緩和」のみ (家畜を飼う民族と農耕を行う民族との対立に言及していなければ×)

第 2 問 (20 点)

設問 A

(1) 1 点 (完答)

Aーカナダ Bーアメリカ合衆国/アメリカ Cーメキシコ

(2) 3 点

技術革新によって、Aではオイルサンド、Bではシェールガス、シェールオイルという非在来型の化石燃料の採掘が可能になった。(2 行)

【加点ポイント】

※(1)の正否は問わないが、解答中の記号が誤っている場合は加点しない。

①<1 点> 【カナダ (A) について】

- オイルサンドの利用 (採掘)

②<2 点 (1 点×2) > 【アメリカ合衆国 (B) について】

- シェールガスの利用 (採掘) →1 点
- シェールオイルの利用 (採掘) →1 点

※①②の加点が無く、「A Bとも非在来型の化石燃料が採掘可能になった」 →1 点

(3) 4 点

関税の段階的撤廃により、人件費の安いCに、Bへ輸出する自動車の組立工場が多数進出した。一方、Bの国内では、Cへの生産拠点の流出で雇用が減少し、国内産業の保護を望む世論が高まった。(3 行)

(次ページに続く)

【加点ポイント】

※(1)の正否は問わないが、解答中の記号が誤っている場合は加点しない。

①<3 点 (1 点×3)> 【メキシコ (C) の自動車産業成長の理由】

- 関税の段階的撤廃／関税の引き下げ／関税がかからなくなった／非関税 →1 点
- 人件費が安い／安価な労働力 →1 点
- アメリカ合衆国 (B) から自動車工場がメキシコ (C) へ多数移転した →1 点
- ×アメリカ合衆国で生産する自動車の部品を多く受注するようになった

②<1 点> 【NAFTA失効 (USMCA締結) の理由】

- アメリカ合衆国 (B) 国内の雇用の減少／アメリカ合衆国 (B) の自動車産業の不振
- ／アメリカ合衆国 (B) で国内産業の保護を望む世論が高まった
- ／アメリカ合衆国 (B) 大統領が国内産業を保護 (活性化) しようとした
- ／アメリカ合衆国 (B) で産業の空洞化が深刻化した

(4) 2 点

二度の石油危機で高騰した光熱費を、低く抑えることができる。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【サンベルトの気候的利点】

- 光熱費を低く抑えることができる／暖房費が安い
- ／年中晴天で太陽光発電により電気代を抑えられる

②<1 点> 【①の背景】

- 石油危機 (オイルショック／石油ショック) による①の高騰

設問 B

(1) 1 点 (完答)

アー衣類 イー石油製品 ウー精密機械 エー航空機

(2) 3 点

スイスは腕時計の生産が盛んであり、イタリアの衣類と同様に、高度な技術を継承する職人が高付加価値の手工業製品を生産する。(2 行)

【加点ポイント】

★(1)「ウー精密機械, アー衣類」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【スイスの代表的工業製品目】

- 腕時計／時計
- ×精密機械

②<2 点 (1 点×2)> 【イタリアとの共通点】

- 職人により製造／高度な技術／熟練工による／手工業製品 →1 点

○高付加価値／高級品／高価／ブランド化 →1 点

(3) 3 点 ※[指定語句] 経済統合 国際分業 対抗 3 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

経済統合の進んだヨーロッパの国々が、フランスで組み立てる航空機の部品を国際分業で生産し、アメリカ合衆国に対抗している。(2 行)

【加点ポイント】

★(1)「エー航空機」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【航空機製造の特徴】

○部品を国際分業で生産/国際分業により部品はフランス国外でも製造

②<1 点> 【①の背景】

○経済統合が進む/E Uによる経済統合/経済統合により非関税である

③<1 点> 【他の地域との関係】

○アメリカ合衆国に対抗している/米国のボーイング社に対抗している

(4) 3 点

家電は、日本から組立労働力の安価な発展途上国に生産拠点が移ったが、関連産業の集積と技術力の必要な重電はその傾向が弱い。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【家電の立地傾向】

○発展途上国 (アジアの新興工業国 {中国、東南アジア}) に生産拠点が移った
/労働力の安価な国に立地するようになった

×「生産拠点が移った/国外に流出した/国内生産が減った」のみ

②<1 点> 【重電の立地傾向】

○国内生産が増えた/国外への移転は進まない

③<1 点> 【②の要因】

○技術力が必要/高度な技術を要する/関連産業が集積する/集積指向型工業である

第 3 問 (20 点)

設問 A

(1) 3 点 (1 点×3)

a - インド b - 中国 c - フィリピン (※ d についての解答は不問)

(2) 2 点

看護・介護や家事労働に従事する英語話者の女性移民が多い。(1 行)

【加点ポイント】

★(1)「c-フィリピン」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【フィリピン出身者の従事する職種】

○看護／介護／家事労働 (メイド)

②<1 点> 【①を背景とした移民の特徴】

○女性が多い／性比が低い

(3) 3 点

EU の拡大で東欧諸国の労働者が大量に流入すると、失業や財政負担の懸念などから移民への不満が強まり、EU 離脱に繋がった。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【変化の背景】

○EU の拡大／東欧諸国 (ポーランドやルーマニア) の EU 加盟

②<2 点 (1 点×2)> 【イギリス社会に与えた影響】

○失業者の増加 (懸念) / 財政負担の増加 (懸念) / 移民への不満の高まり →1 点

○EU 離脱 / ブレグジット (Brexit) →1 点

(4) 4 点 ※[指定語句]

アメリカ第一主義 世界金融危機 米国市場向け

 3 つ全て

下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。 ただし、 <u>解答中のどこかで使用していれば減点しない。</u> 下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

世界金融危機の影響による流入減少に加え、アメリカ第一主義を唱えた政権による移民流入の制限強化が行われた。一方、メキシコでは米国市場向けの工業生産が拡大、国内の労働需要が高まった。

【加点ポイント】

①<2 点 (1 点×2)> 【アメリカ合衆国側の要因】

○世界金融危機の影響 / 世界金融危機による経済の停滞 (不況) →1 点

○アメリカ第一主義による移民制限 →1 点

②<2 点 (1 点×2)> 【メキシコ側の要因】

○米国市場向けの工業生産が拡大 / 米国市場向けの工場が米国などから多く移転した →1 点

○国内の労働需要の上昇 / 雇用 (就業) 機会の増加 / 失業率の低下 →1 点

設問 B

(1) 2 点

工業都市であり、工業労働者として低賃金の外国人を導入した。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【都市の性格】

○工業都市／工業が盛ん／工場が多い

②<1 点> 【転入外国人の特徴】

○工業労働者／低賃金労働者／肉体労働者／男性が多い／性比が高い

(2) 3 点

中枢管理機能や資本・情報の集中度が特に高い世界都市の都心・副都心に位置し、大使館などや高層のオフィスビルが林立する。(2 行)

【加点ポイント】

<3 点 (1 点×3)> 【都市の性格】

○中枢管理機能を持つ／C.B.D.である／大企業の本社が立地／国際金融機関が立地

○資本が集中する／情報が集中する／大学や研究施設が多い／交通網が発達している

○世界都市である／都心（や副都心）である

○高層ビルが立ち並ぶ／大使館が多く立地／オフィスビルや高級商業施設が立ち並ぶ

○1 つ 1 点
3 点まで

(3) 3 点

共に大都市のベッドタウンだが、経済低迷の続く大阪圏のオは開発時期が古く、一極集中の進む東京圏のカは近年の発展が著しい。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【共通する都市の性格】

○ベッドタウンである／住宅都市である／都心（大都市）への通勤者が多い

②<1 点> 【オについて】

・大阪圏／阪神地方／兵庫県／宝塚市

・経済低迷が続く／景気が停滞している／人口は減少傾向である

2 つ揃って 1 点

③<1 点> 【カについて】

・東京圏／首都圏／神奈川県／川崎市／宮前区

・一極集中が進む／近年も発展している／近年も人口が多く流入

2 つ揃って 1 点